



桜神宮

古式神道



●神習会館

桜神宮に出会いとふれあいの空間、神習会館が誕生しました。当会館は、祭典時の参集所並びに研修時の教場、会議場として平成12年に建設されましたが、地域の皆様にも活用して頂こうと常時開放しております。各種研修、セミナー、講演会、集会、展示会、発表会、各種教室、社会福祉活動、文化活動など、どなたでもお気軽にご利用下さい。

利用要項・申込につきましては、社務所までお問い合わせください。



●会場定員/80名(立食の場合は150名程度)

「桜神宮崇敬会」

本会は、神々や祖先のご恩に感謝し、ご祭神の神威の発揚を仰ぎ、ひとりでも多くの方に、日々平安にお過ごしいただけるよう、「癒やし」と「ふれあい」の場を提供するために発会されました。

会員の皆様には会報「ひびき」が送られるほか、春・秋の大祭へのご案内、御神宝特別展へのご案内、メールアドレスの配布など、多くの特典がありますので是非ご入会下さい。

資料請求及びお問い合わせは、東京03(3429)0869 桜神宮事務局まで

■桜神宮への道順

東急田園都市線 桜新町駅北口下車・徒歩2分



古式神道

桜神宮

〒154-0014 東京都世田谷区新町3-21-3

電話 03-3429-0869 FAX 03-3429-7452

ホームページアドレス <http://www.sakura.jingu.net/>

メールアドレス info@sakura.jingu.net

▼御祭神

天照大御神
あまてらすおほみかみ

天御中主神
あめのみなかぬしのかみ

高皇產靈神・神皇產靈神
たかみむすびのかみ かみむすびのかみ

伊弉諾尊・伊弉冉尊
いざなのみこと いざなみのかみ

國常立尊・大己貴命・少彥名命
くにのとこたちのかみ おおみかみのみこと すくもりのみこと

正一位稻荷大神
しょういちゐなりおほみかみ

菅原大神
すがわらのおほみかみ

水天宮大神
すいてんぐわのおほみかみ

外に二十柱の神をおまつりしています。

▼御由緒

桜神宮は天照大御神をはじめ、日本の神々をお祭りする神宮です。

明治初期に伊勢神宮筆頭禰宜、神宮支庁東京出張所所長、龍田神社宮司を歴任し、人々から信望を集めた芳村正乗が明治十七年神田今川小路に創建、内務省を通して外務省の紹介により、当時には珍しく多くのアメリカ人の参拝がありました。十六年には関東八州の御嶽先達の強い要望を受け、長野県知事の許可と御嶽神社祠掌(滝・武居・向井の三社家)の承諾を得て、御嶽三神の御分神を相殿に鎮祭、更に多くの人々の信奉を得ました。

大正四年二月二十一日、芳村正乗が神去る際、神託として速やかに西方角に移転することを命じ、大正八年から十一年にかけて社殿を現在

の世田谷区桜新町の地に移転しました。

この移転により、関東大地震(大正十二年)の災害、並びに太平洋戦争の戦火からも免れ、火伏せ、災難除けの宮としても崇敬を集めました。

芳村正乗は大中臣家六十五代の後裔で、神道神職として人々の教化に尽力しました。そして、明治十五年には勅許によつて教派神道の一派、その名も神宮奉職中に倭姫命から神託によつて授かった「神習いの教え」を立てました。このため桜神宮は古式神道の総本山としても全国の人々から崇敬を受けております。

(注) 大中臣家は古事記に記されている天孫降臨の際の随神である天兒屋根命を祖神とし、神代より宮中祭祀を司る氏族。

▼社殿

桜神宮の社殿は、明治十七年、旧淀藩主稲葉正邦より下賜された境内地に創建され、大正十一年に現在地に移築されたもので、奥殿には千木、鯉木があり、幣殿、拝殿からなる神明造りと春日造りを合わせた様

式の神殿です。

平成十二年には境内整備事業が行われ、新たに建築された会館内には、神宝展示室が置かれ、御霊様をお祀りする霊殿、祈祷殿、襖ぎ場が移設されました。

▼御神体の由緒

ご神体の「御鏡」は、明治初期に神明宮(江戸築地)の天照坐皇大神の御分神として祭られていた菊花十六弁の御鏡に、芳村正乗に信任をよせられた神宮祭主久邇宮朝彦

親王(当時は賀陽宮)が御親ら分霊されたものです。

(注) 分霊とは、御鏡もそのままではただの鏡です。そこに御祭神の分け御霊をお納めして初めて御神体となります。



人生儀礼と諸祭祈願のご案内

▼初詣

一年間の家内安全、身体健康、厄除開運、商売繁昌、交通安全、合格祈願など昇殿祈願を受け付けております。また、仕事始めには、企業、団体、商店などの方の、社運隆昌、無事故祈願を受け付けております。



▼七五三詣

幼少期の成長を節目節目に感謝し祝うのが七五三です。一般に3歳は「髪置」と呼び、男の子の子、5歳は男の子の「袴着」、7歳は女の子の「帯解」のお祝いを致します。



▼初宮詣

お子様の誕生後に氏子の仲間入りをご神前に奉告すると共に健やかなる成長をご神前に祈ります。

▼厄除

祓えを司る神々の神威の発揚を願い男性は25歳、42歳、61歳、女性は19歳、33歳、37歳に厄を祓います。

▼結婚式

伊弉諾尊、伊弉冉尊の故実に習い、古式に則った厳粛な神前結婚式を行います。ご家族だけの手作りの式から、お客様をお呼びしての披露宴までご要望に合わせて承ります。



▼商売繁昌

正一位稻荷大神を祭り、商売繁昌、社運隆昌を祈ります。

▼合格祈願

菅原大神を祭り、入学試験をはじめ諸々の合格祈願をいたします。

▼安産祈願

五ヶ月目の戌の日に神前に詣で水天宮の大神に安産を祈願します。

▼良縁成就

産霊(むすひ)の神と伊弉諾尊、伊弉冉尊に良い縁があり、無事結ばれるよう祈ります。

▼健康祈願

病氣平癒の神、国常立尊、大己貴命、少名彦名命に病気が治り健康になるよう祈ります。

▼その他諸祭祈願

必勝祈願、お祓い、心願成就祈願、交通安全祈願、自動車祓、入学・卒業の奉告、旅行祈願ほか

▼出張祭典

サーバー祓、家祓、地鎮祭、上棟祭 竣工祭、開店清祓、神式葬儀、霊祭ほか

▼主な年中行事

四方拝	1月1日
元始祭	1月3日
節分祭	2月3日
春季大祭(釜鳴り神事、火渡り)	4月9日
秋季中祭(釜鳴り神事、湯立て)	9月17日
慰霊大祭	7月第2日曜日
芳村正乗祭	1月21日
夏越し大祓	6月30日
師走大祓	12月27日
月次祭	毎月9日、21日、27日
祈祷祭	毎月17日



◆御動事御供式(釜鳴り)



◆鎮火式(火渡り)



◆深湯式(湯立て)